

## 感染症

## 県中地域感染症発生動向調査週報(2026年第2週)

(令和8年1月5日～令和8年1月11日)

令和8年1月16日

区分	疾病名	2025年		2026年		2025年 合計	2024年 合計
		51週	52週	1週	2週		
定点報告	インフルエンザ	11.20	7.00	2.20	7.40	—	—
		56	35	11	37	48	2,690 2,570
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	5.00	5.40	3.80	4.00	—	—
		25	27	19	20	39	1,334 2,596
	R Sウイルス感染症	0.67	—	—	1.33	—	—
		2	0	0	4	4	106 104
	咽頭結膜熱	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	25 104
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.33	—	2.00	—	—
		4	4	0	6	6	291 240
	感染性胃腸炎	5.00	9.00	1.00	6.33	—	—
		15	27	3	19	22	844 696
	水痘	0.67	0.33	0.33	0.33	—	—
		2	1	1	1	2	54 29
	手足口病	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	47 973
	伝染性紅斑	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	478 43
	突発性発しん	0.33	—	—	0.33	—	—
		1	0	0	1	1	57 81
全数報告	ヘルパンギーナ	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	20 28
	流行性耳下腺炎	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	1 4
	急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—
		0	0	0	0	0	1 0
	流行性角結膜炎	—	—	—	5.00	—	—
		0	0	0	5	5	16 6
	急性呼吸器感染症(ARI) (定点当り)	54.80	51.00	9.40	43.60	/	/

出典：福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況							
流行中							
流行注意	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎						

## 【インフルエンザについて】

◆報告数が前週から増加しました。

◆県内ではB型の比率の上昇が続いており、第2波として増加に転じる可能性があるため、注意が必要です。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することで起こる病気です。38 °C以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて喉の痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。子どもは、まれに急性脳症を発症し、高齢者や免疫が低下している方は肺炎を伴うなど重症になることがあります。基本的な感染対策が有効です。

## 基本的な感染対策をお願いします



手洗い + 手指消毒



場面に応じたマスクの着用や咳エチケット



暖房使用中も定期的な換気



体調不良時は無理せず休む